

2 ブラックヒールマーク

ゴム底靴で歩行した際に、靴底が摩擦熱で溶け、消し炭をこすりつけたような跡が残ります。これをブラックヒールマークといいます。お互いが溶着した状態なのでこすり取ったり洗剤などで除去する事が困難なケースもあります。NW製品をご使用、もしくは、事前にワックスを塗布してあれば、布拭きや水拭きで取除く事が可能です。



3 アルコール白化

メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。アルコールによってワックス皮膜が白化しているため、白化したワックス皮膜を剥離する事で解消します。また、白化を抑制する耐アルコール性ワックスをご使用下さい。



4 吸水白化

長時間、水に濡れた状態が続くと床材表面が白化する場合があります。植木鉢の下など、湿気がこもる状態も注意が必要です。乾燥させる事で解消していきますが、吸水の状態によっては完全に元に戻らない場合もあります。床材が長時間水に接する状態は避けて下さい。

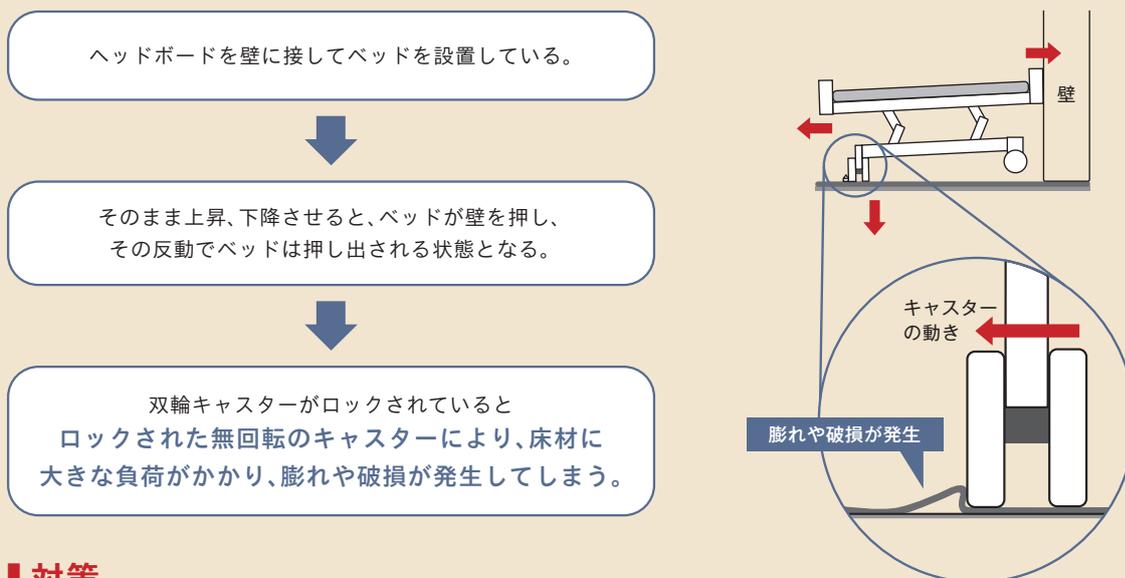


双輪キャスター型スイング式電動ベッドのご使用に際しての注意事項

近年、スイング式電動ベッドの不適切な使用により、床材に不具合を生じる事例がおきています。トラブルを最小限に抑える為、適切な施工方法をご選択いただくとともに、以下の現象に関する配慮をお願いいたします。

不具合の現象と原因

- ① 電動ベッドを移動させる際に双輪キャスターのロックを外さず無理に動かすと、床面に大きな負荷がかかり、床材を破損したり、膨れが生じたりするおそれがあります。
- ② 電動ベッドはシャフトにより昇降する際、前後にスイングする為、ベッドが壁に接触しているとベッドが壁を押し、その反動でベッドは押し出される状態となります。この時、双輪キャスターがロックされているとキャスターに強い力が加わり、床面を無回転で横移動する状態となって、床材に膨れや破損等の不具合が発生してしまいます。特にシート系床材は、その特長から適度な軟らかさがあり、不具合がおこりやすい事がわかっています。



対策

- 電動ベッドを移動する際は必ずキャスターのロックを外す、壁から適切な距離を置いて設置する等、ベッドの取扱い上の注意を遵守して下さい。
 - シート系床材を施工する場合は、下地水分指標にかかわらずエポキシ樹脂系接着剤、ウレタン樹脂系接着剤をお使い下さい。
- ※ただし、これらの対策も床材の膨れ、破損を確実に防止できるものではなく、あくまで問題の発生を軽減する方法の一つとしてご認識下さい。